

追検査

(注意)

- ・採点に際しては、「採点上の注意」とともに、資料文や設問を十分検討すること。
- ・問題5(作文)については、「評価の観点」及び「採点上の注意」に基づき、細部の採点基準を作成して採点すること。

4				3						2						1						問題	正答	配点	採点上の注意										
問4	問3	問2	問1	問5(例)			問4(例)			問3	問2	問1	問2			問1			問5	問4(例)						問3	問2(例)			問1					
				ど	向	何	す	が	在	言	今				習			さ	昇		費					庄	そ	き	び	(ア)	お	の	ク	写	
人	(例)寝	いた	ア	の	け	を	る	あ	世	う	の	エ	ウ	イ	慣	ア	エ	活	昇	イ	費	庄 <td>そ</td> <td>き</td> <td>び</td> <td>(ア)</td> <td>母</td> <td>あ</td> <td>越</td> <td>真</td> <td>エ</td> <td>の</td> <td>も</td> <td>て</td> <td>の</td>	そ	き	び	(ア)	母	あ	越	真	エ	の	も	て	の
毎	ている	ず		よ	て	目	こ	る	代	こ	環						動	つ	降		費	庄 <td>な</td> <td>ろ</td> <td>ん</td> <td>(ア)</td> <td>さ</td> <td>り</td> <td>し</td> <td>を</td> <td></td> <td>の</td> <td>も</td> <td>て</td> <td>の</td>	な	ろ	ん	(ア)	さ	り	し	を		の	も	て	の
に	方	ら		う	の	標	と	か	と	と	境							動	口		費	庄 <td>な</td> <td>ら</td> <td>じ</td> <td>に</td> <td>ん</td> <td>の</td> <td>で</td> <td>を</td> <td></td> <td></td> <td>思</td> <td>き</td> <td>人</td>	な	ら	じ	に	ん	の	で	を			思	き	人
好	が	な		に	最	に	が	を	ど	が	政								と		費	庄 <td>な</td> <td>ら</td> <td>じ</td> <td>に</td> <td>に</td> <td>ま</td> <td>は</td> <td>を</td> <td></td> <td></td> <td>い</td> <td>て</td> <td>そ</td>	な	ら	じ	に	に	ま	は	を			い	て	そ
む	よ	ら		考	適	し	で	決	ち	で	策								廊		費	庄 <td>な</td> <td>ら</td> <td>じ</td> <td>に</td> <td>届</td> <td>ま</td> <td>な</td> <td>を</td> <td></td> <td></td> <td>浮</td> <td>、</td> <td>の</td>	な	ら	じ	に	届	ま	な	を			浮	、	の
事	い	な		え	な	、	き	め	ら	き	に								下		費	庄 <td>な</td> <td>ら</td> <td>じ</td> <td>に</td> <td>け</td> <td>の</td> <td>い</td> <td>を</td> <td></td> <td></td> <td>か</td> <td>撮</td> <td>の</td>	な	ら	じ	に	け	の	い	を			か	撮	の
あ	方	ら		る	手	達	な	て	に	ず	文								で		費	庄 <td>な</td> <td>ら</td> <td>じ</td> <td>に</td> <td>ら</td> <td>姿</td> <td>星</td> <td>を</td> <td></td> <td></td> <td>で</td> <td>風</td> <td>が</td>	な	ら	じ	に	ら	姿	星	を			で	風	が
り	が	な		か	段	成	い	解	権	、	句								あ		費	庄 <td>な</td> <td>ら</td> <td>じ</td> <td>に</td> <td>れ</td> <td>を</td> <td>野</td> <td>を</td> <td></td> <td></td> <td>く</td> <td>景</td> <td>伝</td>	な	ら	じ	に	れ	を	野	を			く	景	伝
	を	に						決	利	現	を								い		費	庄 <td>な</td> <td>ら</td> <td>じ</td> <td>に</td> <td>る</td> <td>、</td> <td>君</td> <td>マ</td> <td></td> <td></td> <td>る</td> <td>ま</td> <td>わ</td>	な	ら	じ	に	る	、	君	マ			る	ま	わ
3	3	3	3	7			7			4	4	4	3	3	3	2			3	2	2	2	2	2	2	5	7			4	6			4	
1 2				2 6						2 4						2 6						配点													
○内容・表現に応じて、部分点を認める。				○内容・表現に応じて、部分点を認める。 ○「現在世代」「環境政策」のうち、いずれか一語しか使われていない場合は4点を減じ、二語とも使われていない場合は、点を与えない。						○著しく字形の乱れているものには、点を与えない。						○内容・表現に応じて、部分点を認める。 ○「拡大」「マスク」のうち、いずれか一語しか使われていない場合は4点を減じ、二語とも使われていない場合は、点を与えない。						採点上の注意													

追検査

令和八年度 採点の手引 (国語) その2

問題	評価の観点	配点	採点上の注意
5	<p>1 課題と関連する内容</p> <p>○資料から読み取ったことをもとにして自分の考えが書かれているか。</p> <p>○自分の体験をふまえて書かれているか。</p> <p>2 文章</p> <p>○文章としてまとまっているか。また、段落や構成に注意して書かれているか。</p> <p>○指示された文章の長さであるか。</p> <p>○文脈(主・述の照応など)、用語などに不適切なところはないか。</p> <p>3 表記</p> <p>○文字・語句・くぎり符号・仮名遣いなどの表記上の誤りや不適切なところはないか。</p> <p>○原稿用紙の正しい使い方に従っているか。</p>	12	<p>○採点は「評価の観点」に従い、12点からの減点法で行う。</p> <p>○資料から読み取ったことをもとにして自分の考えが書かれていなければ、6点を減ずる。</p> <p>○自分の体験(見たこと聞いたことなども含む)をふまえて書かれていなければ、6点を減ずる。</p> <p>○二段落構成で書かれていなければ、4点を減ずる。</p> <p>○二段落構成で書かれているが、第一段落に、資料から読み取った内容が書かれていなければ、2点を減ずる。また、第二段落に、第一段落の内容と関連して自分の体験をふまえて考えが書かれていなければ、2点を減ずる。</p> <p>○内容の程度に応じて、1～6点を減ずる。</p> <p>○不適切な程度に応じて、1～6点を減ずる。</p> <p>○誤りや不適切なところの多少に応じて、1～4点を減ずる。</p>
配点合計	100		